学令の制定もその一つでした。

7 時 が正しい名前ですが、ここでは一部の名称を除いて「渋沢元治」の表記に統一しました。 期 いきたいと思います。 につい て、 その多くの期間を初代総長として務めた渋沢元治の努力を交えながら、 なお記述の都合上、本文中の敬称を略しています。 また 「澁澤元治」 紹介し

「名帝大けふ誕生」

総合大学への道

的 気もあって、都市に人が多く集まり、従来の市街地の周りに新市街地ができ、都市空間 大学令が施行されたことが大きな要因でした。この時期の日本は、 まりました。それまで官立 業を中心として教育 に拡大していきました。そこにサラリーマンなどの都市 名古屋に総合大学を招致しようという動きは、一九一八(大正七)年ごろから本格的にはじ の要求が高まり、 (現在の国立) それに対応した教育諸政策が実施されましたが、 の帝国大学しか認めていなかった大学枠を緩 中間層 が居住し、彼らや彼ら 第一次世界大戦による好景 が が 和 ?飛躍 `働く する 大



【図1】1939年 名古屋帝国大学になる直前の名古屋医科大学 (付属図書館医学部分館提供)

択にはじまり、

職員

在校生や校友会・同窓会を中心に、

愛知県会の意見書採

設置することからはじまったのです。

していたのではなく、

ていました。

当初この

地域

では、

愛知県立医学専門学校

(名古屋

医学部の前身校)を官立大学に昇格移管することをめざし

はじめから帝国大学のような総合大学をめ

Ź

まずは官立の医科大学=単科大学を

県立 から、 移管運 8 れましたが、 府に寄付するので官立にしてほしいという要求もおこな 般市 ての大学 つぎの総合大学設置運動は |のまま一九二〇(大正九) この愛知医科大学を中心としておこります。 動が 民の賛同を得るため新聞界などをも巻き込んで昇格 = 愛知医科大学が設置されました。 展開されました。 結局政府に拒否されてしまいました。そし この間、 一九二六 年に、 この地域 県費から百 (大正一五) における 万円を政 翌年二 年 末 頃

月

医科

(愛知医科大学からの移管を予定)

と工科

盟か

会

る総合大学の設立をめざす「名古屋綜合大学期成同

け 意 実現しました 和 が が ても、 五 見書 発足しました。 そして県 最後に残された課題となりました。 年大阪に官立総合大学(大阪帝国大学)を創設する計画が伝えられると、 を建議させたりしましたが、 総合大学ではありませんが、 が国 (官立名古屋医科大学)。 に毎 同 盟 年五 会は 政府 万円を寄付することを条件に、 陳 それ 情するほ 愛知医科大学を官立移管する方向で運動が あとは 以降行き詰まり、 か、 「総合大学設置」 衆議院 翌 一 運 名古屋市 動 九三一 は停滞しました。 $\|$ 会 「名古屋帝国大学設置 (昭和六) 愛知 温泉会 年官立 この地 再 九三〇 働 開 ž 3 か れ 域 管が に ま (昭 だ お

言 なる名古屋帝国大学が創設されることが、 万 その後文部 設すると発言したことに対して、 もとに各方面 ともあって理学部・工学部を加えた、三学部からなる総合大学創設案を策定しました。 円を愛知 具体案として、 村 春 吉が名古屋医 県 省大蔵省との が に働きか 政 府 名古屋医科大学を基にした医学部と、 に (昭和 けが [科大学の学長に就任すると、 納 入寄 折 なされ、 衝 付 ほ することを条件 か 紀紀会曲 年七月には名古屋総合大学設置期成同盟会も発足しました。 田 また世 .村学長は博物館より大学設置をと切 折 決議されました。 を経 論 の喚起もおこなわれました。 た後、 に ただちに総合 同 翌年二月に 年 应 戦時下 月 に 医学部と理 衆 で軍 大学の 議院 事 創 り返したこともあった 舶 議会で、 設が急 県知 技術 工学部の二学部 事 0 創 務 が 優先というこ であ 設 博 費 物 ると提 甮 館 か 九百 を建 n



東海文化 帝大けふ誕生 の誇り

戸頃

からす

でに

聞

ない一

九三八

7

61

ました。

総長 新

た

0 0

Ĺ

ては、

まだ総合大学

の表現もからしくする。 最新大は野歌された。名古芸術編大事本副 都やかにも著為文化の認高細われらか名古 花やかにも著為文化の認高細われらか名古 てあるが、初代郷長に摩定の扱う歌館が行ってあるが、初代郷長に摩定の扱う多大の指摘をもたれれる歌曲に合方面より多大の指摘をもたれ 澁澤博士 非常時總長 ぶり 日 物大な正式に送ぶ端別を軽くに10千後1 日 物大な正式に送ぶ端別を終してそれを表している 「本の上とにカロバーそれた表ししている。 日本ではつけが、単端が大いの様子としている。 日本ではつけが、単端が大いの様子としている。 日本ではつけが、単一名が続いの様常に れる。

の教授の方に11年生のための総像をです。それで一年生のための総像を 駅ひます(単於)--整理談に高速機なきを続したいと が開送に高速機なきを続したいと 人事の發令

「非常時間投」の輸に用限しいものがあつた

とは誠に感覚にたくません。私は、しては栄命性に素になる即「卑鄙」は素者の同に含はないので質に大正式に確認されるに至うました。 が微観ですが、まづぎより取倒と 一一注文 しておかなくて正式に解説を得かことにいよく 一世紀改画 してだきたいの のをでれく 全は大いく。 自然できること (の調音を表現されたはなのの) なままたがは、 一般できる大の類似。 できまれたの類似。 できまれたの数似。 できまれたの数似。 できまれたの数似。 できまれたの数似。 できまれたの数似。 できまれたの数似。 できまれたの数似。 できまれたの数似。 できまれたのなが、 よるから単常がにはあったが、 できまれたのません。 できまれたのなが、 できまれたんのなが、 できまれたのなが、 できまれたのないのは、 できまれたいまれたのなが、 できまれたんののは、 できまれたんののは、 できまれたのない できまれたんののは、 できまれたんののは、 できまれたのない できまれたんののは、 できまれたんののは、 できまれたんののは、 できまれたんののは、 できまれたんののは、 できまれたんののは、 できまれたんののは、 できまれたんののは、 で

1日から酸酸された名古は歌風大

名古屋帝大初代總長 澁澤元治博士に内定

東 近点地域のおおおおおおお の 100 日本 100 ・出席したこともある 本名作士とはこの間から数類お 書びしました。詳しいことはま をひしました。詳しいことはま 田南したこともある 田中 知事談 名帝子を認住をおいていたこともある 田中 知事談 名帝子を認住 田中 知事談

中方途間では東大郎に配合もあり、 でさきに本条東北帝大選長から文 でさきに本条東北帝大選長から文

初代名古屋俗大郷長の候補者とし

い、博士は多数の装置を持つて大前送のため玆に昭樹に堪へな 最を引きうけられたことは名等電源工機界の機成であり今回機 根据が出来るものと信する

渋沢総長決定 (3月、大阪毎日、毎日新聞社提供) 誕生 (4月、大阪朝日、朝日新聞社提供) の新聞記 【図2】1939年 と名古屋 帝国大学誕生 の新聞記事

う 紙 帝 九 設案の作成にも顧問として参加 わ ました。 K 0 っです。 歳 S鋼の発明で著名な本多光太郎 (補として最初に名があげられ 上で取り沙汰され 昭 設置が正式決定してい 国大学教授田 初代総長 当時 和 また名古屋帝国大学理工 などを理由に就任を固辞、 総総 東北京 本多は 長 か に の 年五 帝 し本多は高

地

元愛知

温県岡

崎

出

身

玉

大学総長を努

め 市

7

両学部

建

L

て

多くの名前 れ 7 61 ま が す。 >新聞 他 報道されたようです に b 田 村学 長 は ľ

争

芳雄を推薦したと

.齡

(当時

が 昭 結 和 局 人選 四 年二月末に元東京帝国大学工学部 は文部省や設 立 進 備 調 查会委員中 長 心 の渋沢元治に決定しました。 に 進 8 5 れ 最 終 的 に 創立 直 前 0

九三九

創 立記念日と開 学式

常時総長」 ています。 九三九 とも新聞に書かれた渋沢は、 三月三一 昭 和 日名古屋帝国大学官制が公布され、 四 年 四 月 日 三日名古屋に入っています。 0 各新 聞 に は 「名帝大けふ誕生」 翌 日から実施されたためです。 その際の抱負として、 などの見出 L が 踊 非

つ



【図3】1943年 前首相近衛文麿の直筆の書 「以和為貴」を掲げた総長室の渋沢

実際 般論としては 0 課題としては、 人材の要請をあげる一 建設経費 0 確 方 保 で

理工学部

0

開

設

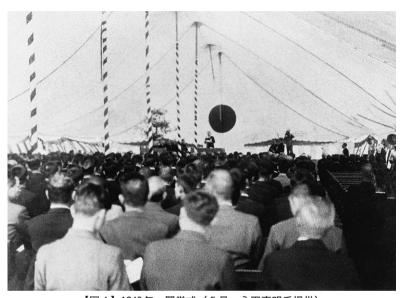
準備を繰り返し述べ

7

61

ます。 13 0 ます。 渋 沢 0 第二章で述べるように、こ 思 ζJ はここに率直 に表現さ 0 れ 時 期

0 てい 新 四 月 入 ・ます。 生 約 兀 八 H + 渋沢はここで、 0 名に対 入学式では、 総 教育とは外 長告 医学 辞 部 を述 0 2



【図4】1943年 開学式(5月、永田直明氏提供)

をうかがいしることができます。

ます。このあたりに渋沢の当時の考え方

ツ・アメリカの教育も平等に評価

してい

育勅語にふれる一方で、イギリス・ドイそぐべきであると述べています。また教ことであり、ことに大学はこれに力をそから詰め込むことではなく人を啓発する

五月二八日には名古屋商工会議所で、 医学部学友会主催の名古屋帝国大学創立 祝賀会が開催されていますが、まだこの 時期は医学部があるだけでした。理工学 時期は医学部があるだけでした。理工学 下学としての第一回創立記念式を行って 大学としての第一回創立記念式を行って いますが、創立記念日を五月一日にした のは、前身の名古屋医科大学がこの日を のは、前身の名古屋医科大学がこの日を

室の額として掲げ、大学全体の座右の銘としました。

れを機

に

渋沢の座右の銘である

「以和為貴」(聖徳

太子の十七条憲法の第一

条)

の書を総

ぎ れ 部 国大学が一応大学としてある程度の軌道に乗ったという、 13 ました。 にほど、 が第一 きたいと思います。 の第二・三章で、 開学四年後の一九四三(昭和十八)年五月一日の創立記念日は、名古屋大学の開学式となり この戦時中に大学を立ち上げ軌道に乗せるには、 医学部学友会から寄付があったこと、 回卒業生をだしたことなどの理由によります。 その名古屋帝国大学初期 の課題を、 前年度に医 渋沢の総長としての仕事とともにみて 渋沢個人としては、 安堵感があったかもしれません。そ 多くの課題がありました。そこでつ · 理 ・工の三学部が おそらく名古屋帝 揃 7, か つ工 学

《コラム》整流器ベルトーロ―ある数学者の夢

を意味する英語 整流器とは、交流電流を直流になおす装置です。ベルトーロ(Vertoro)は、 (インバーターなど)の語尾「バーター」をエスペラント読みして、 変換・転換器 発明者

椎尾は、名古屋大学の前身校のひとつ第八高等学校(八高)在学中、 交流モーターで直流発

電機を回して市電用の直流を作っているのを見て、もっと効率のよい整流器の開発をこころざ

(しいおひとし)が名づけました。

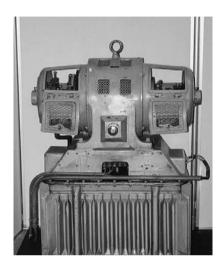
椎尾詞

した。椎尾は 九三六(昭和一一)年、 許可)、母校八高に赴任してから十数年にわたって私財をつぎこみ実用化をはかりました。一 しました。東京帝国大学理学部数学科在学中の一九一八(大正七)年に特許出願し(二年後に 「正しいと思い、 地元メーカーによる製品化が軌道に乗った矢先に四十一 良いと思ったことは、その時、 その場で行え」をモットーに、 歳で死去しま

二進法やエスペラント語、 ローマ字の普及、学校給食や奨学金の実現にも努力しました。「八

高数学」の伝統を築いたリベラルな教育者としても評価されています。

され、金属メッキ、 ベルトー 一口は、 以後一九六八 電池充電、 放送局の真空管や映写ランプの電源などに広く利用されました。 (昭和四三) 年まで海外向けを含め計七千五百四十五台が





【図5】現在博物館にあるベルトーロ(上)と戦前の西二葉町校舎にあったベルトーロ(下、石岡繁雄氏提供)

上は名古屋大学工学部電気系で学生実験に使用されてきたもので、名古屋帝国 大学創設当時に使われた機種(下)と同じく下部に油漕をもつ油冷式であり、ベル トーロのごく初期の型です。

す (近藤守信氏の私信によります)。

海外特許も取得するなど、当時としては優秀な器械でした。なお、名古屋大学工学部では戦後 まもなく、ベルトーロの回転部分から出る放電火花を減らすための改良研究が行われたようで

(名古屋大学博物館・西川輝昭)